

専門分野

小児看護学

授業科目	小児看護学 概論	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	小児看護学 援助論Ⅰ	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		2年次	1	30		河瀬こずえ			2年次	1	30		河瀬こずえ		
学習目標	1. 子どもの特徴と小児看護の概念を理解する。 2. 子どもの成長発達の特徴と健康増進のための看護を学ぶ。 3. 小児保健統計を踏まえ、地域で暮らし育つ子どもを支える法律や保健対策を理解する。						学習目標	1. 疾病・障害が子どもと家族に与える影響が理解できる 2. 子どもの置かれている状況に応じた看護が理解できる 3. 子どもの発達段階における疾病・健康障害の特徴が理解できる。 4. 疾病の経過に応じた看護の特徴が理解できる。 5. 子供の症状に応じた看護が理解できる。 6. 子どもの状態の基本的なアセスメントが理解できる。 7. 検査・処置の受ける子どもの看護が理解できる。							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					講師/実務経験	
1	I. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目的・目標					講義	河瀬こずえ 教員 実務経験:有 【試験配点】 70点	1	I. 疾病・障害を持つ子どもと家族の看護 1. 疾病障害が子どもと家族に与える影響 2. 子どもの健康問題と看護					講義	山越亜美 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点
2	2) 子どもの特徴と小児看護の変遷							2	II. 子どもの状況(環境)に特徴づけられる看護 1. 入院中の子どもと家族の看護 2. 外来における子どもと家族の看護						
3	3) 子どもの人権と看護 生命倫理・児童憲章・児童の権利に関する条約							3	III. 発達段階における看護 1. それぞれの発達段階における疾病・健康障害の特徴 新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期						
4	4) 子どもと家族の諸統計							4	IV. 子どもにおける疾病の経過と看護 1. 慢性期					講義	森佳奈子 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 40点
5	II. 子どもの成長と発達 1) 成長発達の原則							5	2. 急性期・周手術期						
6	2) 形態的成長・機能的発達							6	3. 終末期						
7	3) 心理社会的発達 認知、情緒、社会性 コミュニケーション、学び、発達課題 ボウルビイ愛着理論、ピアジェ認知発達、エリクソンの自我発達							7	V. 症状を示す子どもの看護 不きげん、啼泣、痛み、呼吸困難、 チアノーゼ、ショック、発熱、嘔吐、 下痢、便秘、脱水、浮腫、出血、貧血、 けいれん、意識障害、発疹					講義	小林謙一 帯広厚生病院 小児救急看護 認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 20点
8	4) 発育・発達の評価							8	VI. 子どものフィジカルアセスメント 子どもの急変時の対応 救命処置						
9	III. 子どもの栄養							9	VIII. 検査・処置を受ける子どもの看護 1. 検査・処置総論 子どもにとっての検査・処置体験と看護 の実際						
10	IV. 子ども各期の特徴と看護 1. 新生児: 栄養、感染予防					講義	梶 穂 保健師 市民福祉部健 康保険室 健康推進課課 長補佐 実務経験:有 【試験配点】 15点	10	2. 子どもの薬物療法と看護 ・薬物動態と投与量 ・内服、点耳・点眼・点鼻、注射、点滴 時の看護					講義	中川貢 帯広厚生病院 看護係長 実務経験:有 【試験配点】 20点
11	2. 乳児期: 母子関係の確立、 母子分離不安、哺乳と離乳							11	3. 検体採取時の看護 ・採尿、採便 ・採血 ・骨髄穿刺						
12	3. 幼児期: 基本的生活習慣の確立と 情緒の分化							12	4. 排泄を整えるケア 浣腸						
13	4. 学童期: セルフケアの発達、学校と適 応、学習と遊び、第二次性徴					講義	吉田 正典 市民福祉部こ ども福祉室 子育て支援課主 任 実務経験:無 【試験配点】 15点	13	5. 呼吸を整えるケア 酸素・吸引・吸入					試験	
14	5. 思春期: セルフケアと保健教育、親か らの自立・問題行動と家族機能							14	試験						
15	V. 子どもと家族 VI. 子どもの安全					15	試験								
16	VII. 小児保健の動向と対策 小児保健医療福祉に関する法律と政策					講義	梶 穂 保健師 市民福祉部健 康保険室 健康推進課課 長補佐 実務経験:有 【試験配点】 15点	16	1. 児童福祉 1) 児童福祉の変遷					試験	
17	1. 児童福祉 1) 児童福祉の変遷							17	2) 子どもの貧困への対策						
18	2. 母子保健 1) 母子保健の歴史							18	2) 現在の母子保健 法律・施策						
19	2) 現在の母子保健 法律・施策					講義	吉田 正典 市民福祉部こ ども福祉室 子育て支援課主 任 実務経験:無 【試験配点】 15点	19	3. 医療費の支援 1) 未熟児養育医療					試験	
20	3. 医療費の支援 1) 未熟児養育医療							20	2) 小児慢性特定疾患治療研究事業						
21	3) 難病					講義	吉田 正典 市民福祉部こ ども福祉室 子育て支援課主 任 実務経験:無 【試験配点】 15点	21	4. 学校保健と特別支援教育					試験	
22	VIII. 子どもと家族を取り巻く社会 1. 子どもと家族を取り巻く社会の諸問題							22	試験						
23	2. 子どもと家族を取り巻く社会の諸問題					講義	吉田 正典 市民福祉部こ ども福祉室 子育て支援課主 任 実務経験:無 【試験配点】 15点	23	試験					試験	
24	3. 予防接種							24	試験						
25	4. 学校保健と特別支援教育					講義	吉田 正典 市民福祉部こ ども福祉室 子育て支援課主 任 実務経験:無 【試験配点】 15点	25	試験					試験	
26	試験							26	試験						
テキスト	小児看護学1・2 医学書院						テキスト	小児看護学1・2 医学書院							
評価方法	筆記試験						評価方法	筆記試験							
先修条件	なし						先修条件	なし							

専門分野

小児看護学

授業科目	小児看護学 援助論Ⅱ	開講年次	単位	時間	必修	担当者	授業科目	小児看護学 援助論演習	開講年次	単位	時間	必修	担当者		
		2年次	1	15		河瀬こずえ			2年次	1	30		河瀬こずえ		
学習目標	健康障害をもつ子どもとその家族が生活・療養するための看護を理解する。						学習目標	1. 子どものケアに必要な基本的な看護技術を学ぶ。 2. 事例の看護過程の展開を通し、健康障害が子どもの成長・発達や日常生活、家族に与える影響を捉え、子どもと家族に対しての個別的な健康上のニーズへの対応、QOLの維持向上を目指す看護援助について学ぶ。							
回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験	回数	授業計画・授業内容					授業方法	講師/実務経験
1	I. 主な健康障害と看護 1) 先天異常と看護 2) 新生児の看護・低出生体重児の看護 (保育器の管理を含む)					講義	佐藤ゆかり 帯広厚生病院 新生児集中ケア認定看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点	1	I. 子どものケアに必要な看護技術					講義	河瀬こずえ 教員 実務経験:有
2								2	1. こどものアセスメント 2. コミュニケーション 3. プレパレーション 4. 日常生活に必要な看護技術						
3	3) 代謝性疾患と看護(糖尿病) 4) 内分泌疾患と看護 5) 免疫疾患、アレルギー・リウマチ疾患と看護(気管支喘息、JIA)					講義	棚瀬 遥 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点	3							
4								4	幼児期の子どもへのプレパレーション、環境整備、フィジカルアセスメントのシミュレーション演習					シミュレーション	
5	6) 感染症と看護 (麻疹・風疹・ムンプス・髄膜炎) 7) 呼吸器疾患と看護(肺炎・気管支炎)					講義	中川 貢 帯広厚生病院 看護係長 実務経験:有 【試験配点】 10点	5	II. 子どもの看護過程の展開 学童期 喘息事例の看護過程の展開						
6	8) 循環器疾患と看護 (先天性心疾患・川崎病) 9) 消化器疾患と看護 10) 血液造血器疾患と看護 (出血傾向にある子どもの看護)						棚瀬 遥 帯広厚生病院 看護師 実務経験:有 【試験配点】 30点	6							
7	11) 腎疾患をもつ子どもの看護 (腎炎、ネフローゼ症候群) 12) けいれんのある子どもの看護							7	アセスメント・看護診断						
8	試験							8							
								9	子どもと家族のセルフケアに応じた看護目標の設定と看護計画立案						
								10							
								11	患者教育場面の援助計画立案						
								12							
								13	援助の実施 呼吸を整えるためのケア 与薬の援助 薬物療法継続のための患者教育・説明					シミュレーション	
								14							
								15	試験						
テキスト	小児看護学1・2 医学書院						テキスト	小児看護学1・2 医学書院							
評価方法	筆記試験						評価方法	事前学習・グループワークの取り組み・出席状況・レポート課題 6割 試験 4割							
先修条件	なし						先修条件	なし							